

本時のねらい カルタゲームやペア探しゲームを通して、職業の名前や将来の夢を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする。

本時の展開 ( 2 / 4 )

過程	学習活動	本時の重点とする評価の観点と評価方法		
導入	<p>1.Warm-up ・挨拶と歌 When I grew up? 2.ALT's Time ( 評価の観点 ウ ) ・ALT の国の消防士の服装・道具などの特徴を聞き、日本の消防士との違いを知る。 3.Activity ( 評価の観点 イ ) (1) いろいろな職業の言い方を練習する。 英語ノート 2 P 5 7 Let's chant で、将来の夢の尋ね方や答え方を練習する。 モデルスキットの練習をする。 (2) ペアでカルタゲームを行う。英語ノート 2 巻末の 1 6 枚のカードを使う。“What do you want to be?”と全員で尋ね、ALT が“I want to be a firefighter.”と答えた職業のカードをとる。</p>	<p>イ 外国語への慣れ親しみ 将来の夢を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。( 観察 ) ウ 言語や文化に関する気付き ALT の国の消防士の服装・道具などの特徴を聞き、日本の消防士との違いから文化の違いを知る。 将来の意向を表すには I want to ~ という表現を用いることに気付いている。</p>		
課題	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">お互いの夢を尋ねたり、答えたりして同じ夢のペアを見つけよう！</p>	<p>各過程における配慮事項</p>		
確認展開	<p>Activity ( 評価の観点 イ, ウ ) (3) 教師によるスキットを見て、活動の見通しをもつ。</p>	<p>学習活動 1 について あいさつや歌で英語を始める楽しい雰囲気作りをする。歌は、自然に身ぶりを加えている生徒や楽しい表情で歌っている児童を価値付ける。</p>		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>ペア探しゲーム モデルスキット A ALT: Hello. HRT: Hello. What do you want to be? ALT: I want to be a firefighter. HRT: It's good. ALT: What do you want to be? HRT: I want to be a teacher. ALT: It's nice.</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>ペア探しゲーム モデルスキット B ALT: Hello. HRT: Hello. What do you want to be? ALT: I want to be a firefighter. HRT: Oh! Me, too. I want to be a firefighter.</p> </td> </tr> </table>	<p>ペア探しゲーム モデルスキット A ALT: Hello. HRT: Hello. What do you want to be? ALT: I want to be a firefighter. HRT: It's good. ALT: What do you want to be? HRT: I want to be a teacher. ALT: It's nice.</p>	<p>ペア探しゲーム モデルスキット B ALT: Hello. HRT: Hello. What do you want to be? ALT: I want to be a firefighter. HRT: Oh! Me, too. I want to be a firefighter.</p>	<p>学習活動 2 について 本時のトピックスに関わる内容として、外国の消防士の特徴を話す。服装の色や道具の形、仕事の様子などをジェスチャーを加えて説明する。知っている英語やジェスチャーから話の内容を推測できる喜びを感じさせる。 話の後に写真を提示し、自分の聞き取ったイメージが合っていたか確認できるようにする。</p>
<p>ペア探しゲーム モデルスキット A ALT: Hello. HRT: Hello. What do you want to be? ALT: I want to be a firefighter. HRT: It's good. ALT: What do you want to be? HRT: I want to be a teacher. ALT: It's nice.</p>	<p>ペア探しゲーム モデルスキット B ALT: Hello. HRT: Hello. What do you want to be? ALT: I want to be a firefighter. HRT: Oh! Me, too. I want to be a firefighter.</p>			
評価	<p>(4) スクランブルでペア探しゲームを行う。職業カードを 1 枚ずつ配る。そのカードに描かれている職業に就きたいことにして、“What do you want to be?” “I want to be a ~.” を使って同じカードを持っている人を探す。 活動の半ばに中間コメントを開き、後半への活動に生かす。</p> <p>4.Evaluation (1) 自己評価をする 初めは、うまく聞けなかったけれど、友だちに教えてもらって将来の夢の尋ね方や答え方が分かりました。 なかなかペアが見付からなかったけど、何回も話すうちに言い方が分かって良かったです。 消防士の服や仕事に使う道具が国によって違うことにびっくりした。</p> <p>(2) 相互評価をする。友だちの良かった姿や自分の頑張ったことを発表する。 さんが、職業の名前を私に教えてくれたので言えるようになりました。</p> <p>(3) 教師による評価を聞いて次時への意欲をもつ。 ペア探しゲームでは、進んで話しかけている人がたくさんいました。何度も尋ねるうちに、夢の尋ね方や答え方が分かりましたね。</p>	<p>学習活動 3 について 教師によるモデルスキットを提示して、活動の仕方を理解させる。活動がうまくいくように、積極的に話しかけられる子と、話しかけられない子がペアになるように意図的にカードを配るようにする。活動の途中でコメントを入れることで、進んでコミュニケーションを図ろうとしている児童や、友だちと教え合って言えるようになっていく姿を価値付け、他の児童に広めるようにする。</p> <p>学習活動 4 について 本時のねらいに関わって自己評価を行い、次時への意欲を高めるために、教師が「何人の人に尋ねてペアが見付けられましたか？」と問いかけ、たくさんの人と話した児童を価値付ける。また、「お互いの夢を尋ねたり、答えたりする言い方が分かりましたか？」と尋ね、自己の慣れ親しみの度合いを振り返らせる。 相互評価では、友だちと教え合いながら言えるようになった姿を認め、コミュニケーションへの自信をもたせる。 担任は活動の中で見られた態度面でのよさを価値付け、ALT は表現の良さを取り上げ、価値付ける。 中学校へつなげるポイント What do you want to be? は中学校でも触れる表現である。小学校では文法的な説明はせず十分に音で慣れ親しませる。</p>		